

光産業技術マンスリーセミナー

光協会では、光産業・技術の普及事業の一環としてマンスリーセミナーを毎月第3火曜日(原則)に開催しております。このセミナーは、光産業技術に関連する幅広い専門家を講師に迎えて、内外のトピックスや最新の情報をわかりやすく解説していただくものです。

505 回	6/17 (火)	低消費電力ネットワーク、信号処理を目指した 光デバイス – 適材適所な材料を用いてー	早稲田大学 名誉教授 宇高 勝之氏	(概要) 昨今のAIの著しい普及はデータセンタやグローバルネットワークのさらなる大容量化、高速化を促進させているが、同時にこれらネットワークの低消費電力化の要請は一層喫緊の課題となっている。光デバイスの高速化と共に、全フォトニックネットワークに象徴されるように電子デバイスから光デバイスの置き換えもシステムの低消費電力化に大きく貢献すると考えられている。その際、機能に応じて光デバイスの構造は元より適材適所な材料選択が重要であり、かつそれらデバイスを有機的に融合したハイブリッド集積化も不可欠となる。このような観点から、講演者が取り組んできた光デバイスを含めて、技術動向を俯瞰したい。	受講申込 
506 回	7/15 (火)	OCTの産業計測への応用	santec LIS株式会社 研究開発グループ システム開発チーム エキスパート 大矢 正人氏	(概要) OCT(OCT: Optical coherence tomography)は、非侵襲に対象物の内部を数μmオーダーで可視化する方法であり、医用応用の分野では眼科（眼底検査、白内障手術のための検査など）・皮膚科（がん検査など）・心臓血管でのカテーテル検査での診療で多く使われてきた。一方で、工業応用の分野でも、半導体・電池・自動車などの分野で導入が進んできており、それぞれの分野で厚み測定や内部と表面の欠陥検査、形状計測などで使用されている。また、画像解析の手法も進み、計測へ応用されてきている。今回、OCTの工業用途での応用を中心に発表を行う。	受講申込 
507 回	8/19 (火)	いまだ聞けない3Dプリンタの基礎 ～原理・特徴、光技術応用と最新技術動向～	一般社団法人 日本3Dプリンティング産業技術協会 研究員 山口 清氏	(概要) 現在大阪万博が開催されていますが、会場にはトイレや休憩施設の外壁や家具など3Dプリンタで作られたプラスチック製の大型の造形物が数多く展示されています。“3Dプリンタって小さいものしか作れないと思っていたのにいつの間にこんなに大きなものが作れるようになったの？”と驚いた方も多いのではないのでしょうか。このような最新の技術革新に関しては講演の後半で解説します。一般的に3Dプリンタと呼ばれていますが、正式にはASTMによってAM(Additive Manufacturing)という名称で定義されており、厳密に7つの造形方式に分類されます。講演では各造形方式の原理と特徴に関して解説いたします。また、この中で光技術がどのように活用されているかもご紹介いたします。	受講申込 

光産業技術マンスリーセミナー 参加要領

参加料：銀行振込でお支払い下さい。(消費税込み)
 光協会賛助会員：1,500円
 ー 般：3,000円
 大学・公的機関：無料(学生・院生含む)

会場：オンライン開催
 定員：90名(定員になり次第締め切らせていただきます。)
 時間：15:30～17:30

お申込み：各回毎の二次元バーコードからお申し込みください。詳細は下記HPをご参照ください。

マンスリーセミナーHP <https://www.oitda.or.jp/seminar/monthly/>

事務局：マンスリーセミナー担当 武富・瀬戸山 Email: mly@oitda.or.jp TEL: 03-5225-6431

